

知っておきたい検査値その①

～糖尿病編



血糖値

血糖値とは血液に含まれるブドウ糖の濃度のこと、1dL(100ml)の血液に何mgのブドウ糖が含まれているか、という数値で表します。血糖値は食事によって大きく変動するため、検査のタイミングによっていくつかの種類に分けられます。

(例:空腹時血糖値・ブドウ糖負荷試験後の血糖値・食後2時間血糖値・随時血糖値)

HbA1c(エイチビーエーワンシー)

HbA1cとは、血液中の赤血球にあるヘモグロビンにブドウ糖が結合したもので、過去1～2カ月の血糖コントロールの状態を反映します。つまりHbA1cが高いということは、ここ1～2カ月の血糖値がずっと高いことを表します。

コントロール評価とその範囲

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c(JDS値)(%)	5.8未満	5.8～6.5未満	6.5～7.0未満	7.0～8.0未満	8.0以上
HbA1c(国際標準値)(%) ※	6.2未満	6.2～6.9未満	6.9～7.4未満	7.4～8.4未満	8.4以上
空腹時血糖値 (mg/dl)	80～110未満	110～130未満	130～160未満		160以上
食後2時間後血糖値 (mg/dl)	80～140未満	140～180未満	180～220未満		220以上

※HbA1cの標準化に伴い、従来のJDS値に0.4%を加えた国際標準値を併記しています

自分の検査値を知ることは大切です！

